

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2018年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 社会保険労務士資格を有していないFPが、顧客からの質問に応じて、日本の公的年金制度の仕組みと特徴について説明をした。
2. 投資助言・代理業の登録をしていないFPが、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて特定の上場会社の業績予想や投資判断について助言をした。
3. 税理士資格を有していないFPが、顧客から個別・具体的な税額計算を依頼されたため、業務提携している税理士を紹介し、一般的な税法の解説を行った。

問2

下記は、伊丹家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入すること。

<伊丹家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			基準年	1年	2年	3年	4年
西暦(年)			2018	2019	2020	2021	2022
家族・ 年齢	伊丹 直樹	本人	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳
	愛実	妻	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	航	長男	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳
	彩香	長女	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
ライフイベント		変動率	住宅の リフォーム	彩香 高校入学	航 大学入学		彩香 大学入学
収入	給与収入(夫)	1%	416			(ア)	
	給与収入(妻)	1%				260	262
	収入合計	—		675	681		
支出	基本生活費	2%	276	282	287	293	299
	住宅関連費	—	153	153	153	153	153
	教育費	—	140	180			320
	保険料	—	47	47	47	47	47
	一時的支出	—	150				
	その他支出	—	30			30	30
	支出合計	—	796		777		849
年間収支			▲128	▲18	(イ)	15	▲154
金融資産残高		1%	1,370	(ウ)	1,284		

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2018年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. 空欄(ア)：「 $416 \times (1 + 0.01 \times 3) \doteq 428$ 」
2. 空欄(イ)：「 $681 - 777 = \blacktriangle 96$ 」
3. 空欄(ウ)：「 $1,370 \times (1 + 0.01) - 18 \doteq 1,366$ 」

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
(ア)	日本銀行が景気の現状や先行きの見通しについて企業に直接行うアンケート調査で、全国企業短期経済観測調査の略称であり、年4回、調査・公表される。
(イ)	消費者が購入するモノやサービスなどの物価の動きを把握するための統計指標で、総務省から毎月発表されている。
(ウ)	生産、雇用などの経済活動状況を表すさまざまな指標の動きを統合して、景気の現状把握や将来の動向を予測するために内閣府が発表している指標である。

1. 空欄（ア）に入る用語は、「日銀短観」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「消費者物価指数」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「企業物価指数」である。

問4

下記は、NISA（少額投資非課税制度）の概要についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

対象となる金融商品	上場株式、株式投資信託、J-REIT（上場不動産投資信託）等
口座開設	原則1人1口座
金融機関の変更	(ア)
非課税投資枠	新規投資額で年間(イ)まで
非課税枠の未使用分	翌年以降に(ウ)

1. 空欄（ア）に入る語句は、「1年単位で可能」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「100万円」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「繰り越すことができない」である。

問5

下記<資料>に基づくS X株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

[株式市場に関するデータ]

株式市場の投資指標

(P E Rと配当利回りの太字は予想、カッコ内は前期基準、P B Rは四半期末基準、連結ベース。算出不能は—)

	P E R		P B R		配当利回り (%)	
	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	13.81 (16.03)	1.24	1.74 (1.56)			
J P X 日経400採用銘柄	15.06 (16.08)	1.45	1.55 (1.43)			
東証1部全銘柄	15.66 (17.71)	1.34	1.59 (1.49)	1.93 (1.77)		
東証2部全銘柄	28.14 (—)	1.57	1.52 (1.50)	1.05 (1.01)		
ジャスダック全銘柄	20.49 (25.22)	1.63	1.38 (1.36)			
株式益回り (東証1部全銘柄)				予想		6.38%
				前期基準		5.64%

(出所：日本経済新聞 2018年2月7日朝刊 18面)

[S X株式会社に関するデータ]

株価	810円
1株当たり純利益 (今期予想)	62円
1株当たり純資産	580円
1株当たり年間配当金 (今期予想)	16円

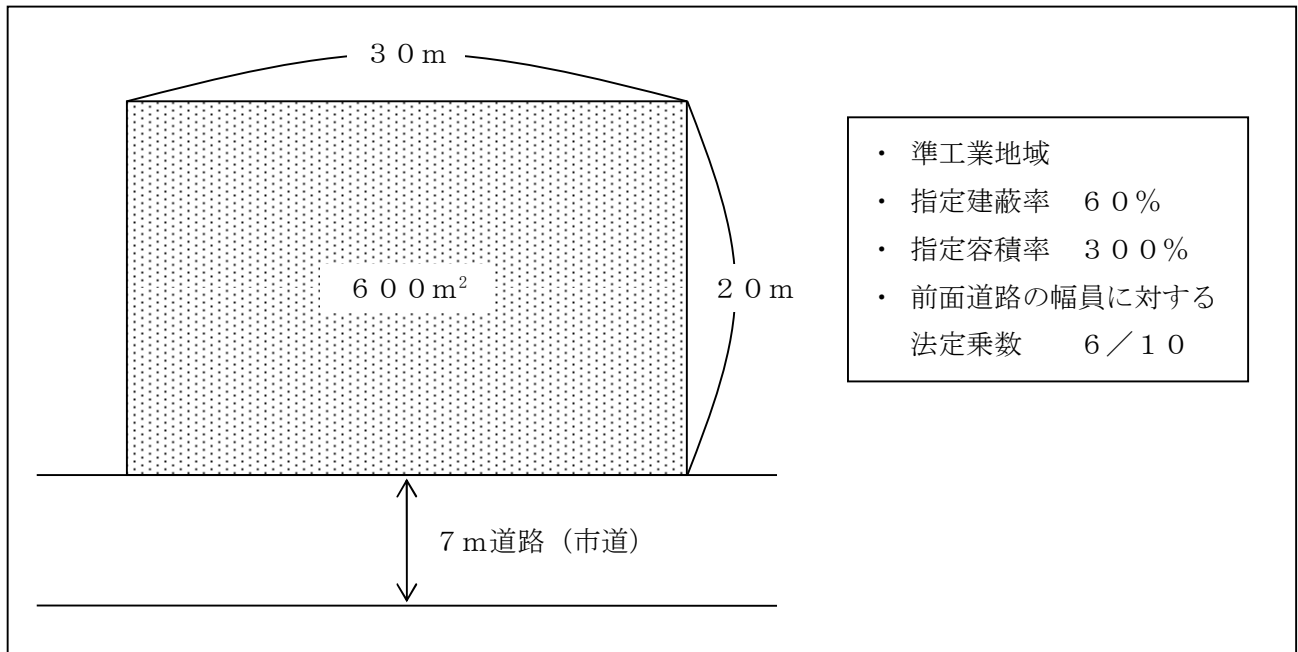
1. 株価収益率 (P E R) で比較した場合、S X株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均 (予想ベース) より割安である。
2. 株価純資産倍率 (P B R) で比較した場合、S X株式会社の株価は東京証券取引所市場第1部 (東証1部) 全銘柄の平均より割安である。
3. 配当利回り (単純平均) で比較した場合、S X株式会社の配当利回りはジャスダック全銘柄の平均 (予想ベース) より高い。

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記＜資料＞の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



1. $600 \times 0.6 = 360$ (m²)
2. $600 \times 3.0 = 1,800$ (m²)
3. $600 \times 7.0 \times 6/10 = 2,520$ (m²)

問7

土地の登記記録において、下表の甲区（ア）、乙区（イ）に記録される事項の組み合わせとして、誤っているものはどれか。なお、問題作成の都合上、表の一部を空欄（***）としている。

＜土地登記記録の構成＞

土地登記記録	表題部	***	
	権利部	甲区	（ア）
		乙区	（イ）


1. （ア） 抵当権設定登記 （イ） 所有権保存登記
2. （ア） 所有権移転登記 （イ） 抵当権設定登記
3. （ア） 所有権移転登記 （イ） 地上権設定登記

【第4問】下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

大下実さんが加入しているガン保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、実さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 ガン保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	大下 実 様	ご印鑑 	◆契約日 2009年12月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	大下 実 様 契約年齢 52歳 男性		
受取人	〔給付金受取人〕被保険者 様 〔指定代理請求人〕大下 あずさ 様 *被保険者との続柄：妻		
■ ご契約内容			
給付金・保険金の内容		給付金額・保険金額	
入院給付金	1日目から	日額5,000円	終身
通院給付金		日額5,000円	
診断給付金	初めてガンと診断されたとき	100万円	
■ 保険料の内容		■ その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 : 毎月		保険料口座振替特約 *以下余白	

大下実さんが、2018年中に初めてガン（肺ガン・悪性新生物）と診断され、50日間入院した場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。

1. 25万円
2. 100万円
3. 125万円

問9

池谷史郎さんが2017年中に支払った生命保険の保険料が下記<資料>のとおりである場合、史郎さんの2017年分の所得税における生命保険料控除の金額として、正しいものはどれか。なお、下記<資料>の保険について、これまでに契約内容の変更は行われていないものとする。

<資料>

[終身保険（無配当）] 保険契約者：池谷 史郎 被保険者：池谷 史郎 死亡保険金受取人：池谷 綾子（妻） 契約日：2016年8月1日 2017年の年間支払保険料：75,000円

<所得税の生命保険料控除額の速算表>

[2011年12月31日以前に締結した保険契約（旧契約）等に係る控除額]

年間の支払保険料の合計	控除額
25,000円 以下	支払金額
25,000円 超 50,000円 以下	支払金額×1/2 + 12,500円
50,000円 超 100,000円 以下	支払金額×1/4 + 25,000円
100,000円 超	50,000円

[2012年1月1日以降に締結した保険契約（新契約）等に係る控除額]

年間の支払保険料の合計	控除額
20,000円 以下	支払金額
20,000円 超 40,000円 以下	支払金額×1/2 + 10,000円
40,000円 超 80,000円 以下	支払金額×1/4 + 20,000円
80,000円 超	40,000円

(注) 支払保険料とは、その年に支払った金額から、その年に受けた剰余金や割戻金を差し引いた残りの金額をいう。

1. 38,750円
2. 40,000円
3. 43,750円

問10

長谷川隆一さんが契約している自動車保険の主な内容は、下記<資料>のとおりである。次の記述のうち、<資料>の保険の補償の対象となるものはどれか。なお、いずれも保険期間中に損害が発生したものであり、運転者は隆一さんである。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>

保険種類	自動車保険
保険期間	1年
保険契約者	長谷川 隆一
記名被保険者	長谷川 隆一
対人賠償	無制限
対物賠償	無制限（免責金額なし）
人身傷害	1名につき5,000万円
搭乗者傷害	5日未満入通院保険金 2万円 5日以上入通院保険金 20万円

1. 自動車を駐車場に駐車する際に、誘導中の母親に誤って車が接触し、ケガをさせた。
2. 自動車を自宅車庫に入れる際に、誤って車庫の壁に衝突し、壁を損壊した。
3. 自動車を運転中に、交差点で他の自動車と衝突し、隆一さんが重傷を負った。

【第5問】下記の（問11）～（問13）について解答しなさい。

問11

社員の福岡忠雄さんが2018年中に支払った医療費等が下記＜資料＞のとおりである場合、福岡さんの2018年分の所得税の確定申告における医療費控除の金額として、正しいものはどれか。なお、福岡さんの所得は給与所得700万円のみであり、妻は福岡さんと生計を一にしている。また、医療費控除の金額が最も大きくなるよう計算すること。

＜資料＞

支払年月	医療等を受けた人	内容	支払金額
2018年1月	本人	人間ドック代（※1）	80,000円
2018年2月	本人	入院費用（※2）	240,000円
2018年8月	妻	健康増進のためのビタミン剤の購入代	30,000円

（※1）人間ドックの結果、重大な疾病が発見され引き続き治療のため入院した。

（※2）保険金等により補てんされた金額はないものとする。

1. 250,000円
2. 220,000円
3. 140,000円

問12

給与所得者である杉田さんは、2018年中にマンションを購入し、直ちに居住を開始した。杉田さんは、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えており、FPで税理士でもある村瀬さんに相談をした。村瀬さんの住宅ローン控除に関する次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「住宅ローン控除の適用対象となる住宅の床面積は、45m²以上とされています。」
2. 「住宅ローン控除の控除額は、『住宅借入金等の年末残高等×1%』で計算されます。」
3. 「住宅ローン控除は、その年分の合計所得金額が3,000万円以下でなければ適用を受けることができません。」

問 13

桑原さんは、個人で飲食店を経営している青色申告者である。桑原さんの2018年分の所得および所得控除が下記〈資料〉のとおりである場合、桑原さんの2018年分の所得税額として、正しいものはどれか。なお、桑原さんに〈資料〉以外の所得はなく、復興特別所得税や税額控除、源泉徴収税額や予定納税等については一切考慮しないこととする。

〈資料〉

[2018年分の所得]	
事業所得の金額	1,200万円
※必要経費や青色申告特別控除額を控除した後の金額である。	
[2018年分の所得控除]	
所得控除の合計額	250万円

〈課税総所得金額に対する所得税の計算方法〉

$$\text{課税総所得金額} \times \text{所得税率} - \text{控除額}$$

〈所得税の速算表〉

課税される所得金額		税率	控除額
1,000円 から	1,949,000円 まで	5%	0円
1,950,000円 から	3,299,000円 まで	10%	97,500円
3,300,000円 から	6,949,000円 まで	20%	427,500円
6,950,000円 から	8,999,000円 まで	23%	636,000円
9,000,000円 から	17,999,000円 まで	33%	1,536,000円
18,000,000円 から	39,999,000円 まで	40%	2,796,000円
40,000,000円 以上		45%	4,796,000円

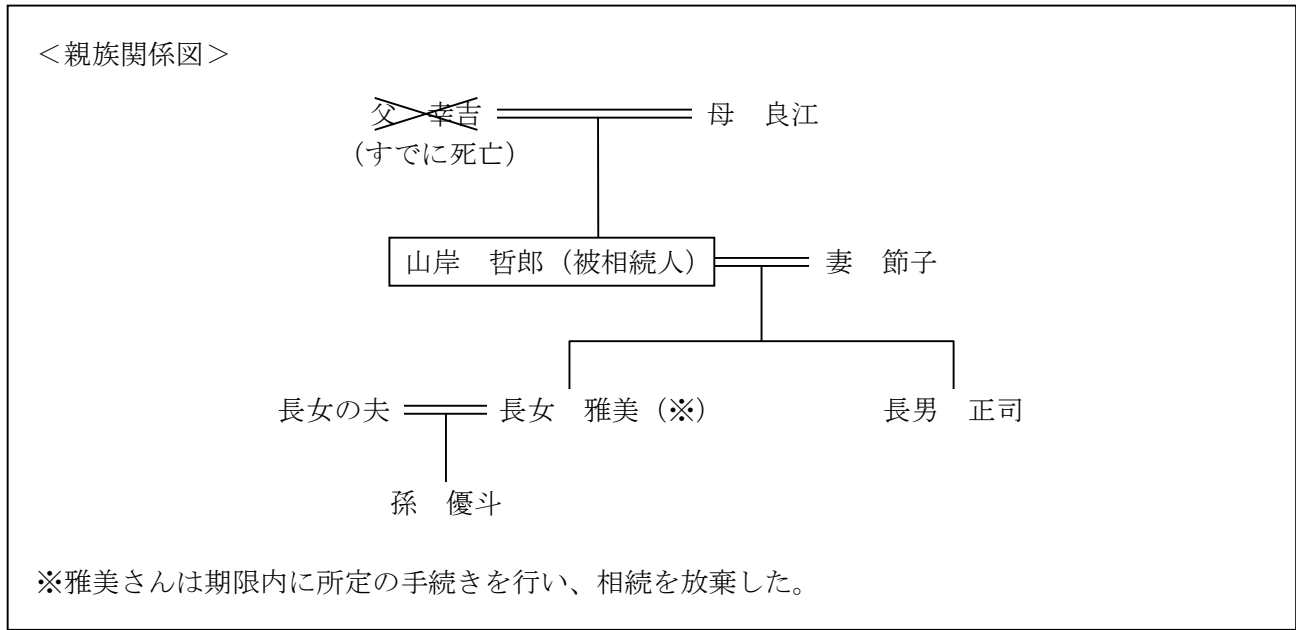
(注) 課税される所得金額の1,000円未満の端数は切捨て

1. 3,135,000円
2. 2,424,000円
3. 1,599,000円

【第6問】下記の（問14）～（問16）について解答しなさい。

問14

2018年9月2日に相続が開始された山岸哲郎さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 節子 1/2 正司 1/2
2. 節子 1/2 正司 1/4 優斗 1/4
3. 節子 1/2 良江 1/6 正司 1/6 優斗 1/6

問15

中井さんは、FPの浅田さんに公正証書遺言について質問をした。この質問に対する浅田さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜浅田さんの回答＞
「公正証書遺言は、遺言者が遺言内容を口授し、公証人が筆記したうえで、遺言者・証人に読み聞かせ、または閲覧させて作成する遺言書です。公正証書遺言の作成に当たっては、（ア）以上の証人の立会いが必要となります。また、相続開始後における家庭裁判所の検認が（イ）です。」

1. (ア) 1人 (イ) 必要
2. (ア) 2人 (イ) 必要
3. (ア) 2人 (イ) 不要

問16

野村由美子さん（60歳）は、夫から居住用不動産の贈与を受けるに当たっての贈与税の取扱いについて、FPで税理士でもある横川さんに相談をした。この相談に対する横川さんの回答の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<横川さんの回答>

「贈与税の配偶者控除は、婚姻期間が（ア）以上の配偶者から、国内の居住用不動産または居住用不動産を取得するための金銭の贈与を受け、所定の要件を満たす場合に、基礎控除とは別に、最大（イ）の控除を受けることができる制度です。」

1. （ア）10年 （イ）1,000万円
2. （ア）20年 （イ）2,000万円
3. （ア）20年 （イ）2,500万円

【第7問】下記の（問17）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

佐野勇也さんは株式会社MKに勤める会社員である。勇也さんは40歳を過ぎたこともあり、今後の生活設計について、FPで税理士でもある鶴見さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2018年9月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
佐野 勇也	本人	1972年8月10日	46歳	会社員
弥生	妻	1976年6月16日	42歳	専業主婦
真理恵	長女	2001年5月 5日	17歳	高校生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	450
定期預金	500
財形年金貯蓄	220
個人向け国債	50
上場株式	140
生命保険（解約返戻金相当額）	70
不動産（自宅マンション）	2,600

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：1,900万円（債務者は勇也さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 17

F P の鶴見さんは、佐野家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜佐野家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××	負債合計	×××
財形年金貯蓄	×××		
個人向け国債	×××	[純資産]	(ア)
上場株式	×××		
生命保険（解約返戻金相当額）	×××		
不動産（自宅用マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 2,130（万円）
2. 2,060（万円）
3. 1,990（万円）

問 18

勇也さんは、今後15年間で毎年24万円ずつ積立貯蓄をして、老後の生活資金を準備したいと考えている。積立期間中に年利2.0%で複利運用できるものとした場合、15年後の合計金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	終価係数	年金終価係数	年金現価係数
15年	1.346	17.293	12.849

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 4,846,000円
2. 4,150,000円
3. 3,084,000円

問19

勇也さんは、通常65歳から支給される老齢基礎年金を繰り下げて受給できることを知り、FPの鶴見さんに質問をした。老齢基礎年金の繰下げ受給に関する次の(ア)～(ウ)の記述について、正しいものを○、誤っているものを×とした組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

- (ア) 老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額の増額は、一生涯続く。
- (イ) 老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額は、繰下げ月数1月当たり0.7%の割合で増額される。
- (ウ) 老齢基礎年金を繰下げ受給する場合、老齢厚生年金を65歳から受給することはできない。

- 1. (ア) × (イ) ○ (ウ) ○
- 2. (ア) × (イ) × (ウ) ○
- 3. (ア) ○ (イ) ○ (ウ) ×

問20

勇也さんの公的年金加入歴は下記のとおりである。仮に、勇也さんが現時点(46歳)で死亡した場合、勇也さんの死亡時点において妻の弥生さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、勇也さんは、入社時(22歳)から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



- 1. 遺族厚生年金のみが支給される。
- 2. 遺族基礎年金および遺族厚生年金が支給される。
- 3. 死亡一時金および遺族厚生年金が支給される。